

# 放送大学 北海道同窓会会報

第21号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 中根 恵美子

編集 広報担当

発行日 2012年11月15日(木)

URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 202名(2012年9月30日現在)

## ‘道放送大生賛歌’について

放送大学北海道同窓会会長 牧野金太郎

放送大学には学歌がありますが、どうも学生が気軽に口ずさむ歌でもないようです。役員会の席上で私が「同窓会でも口ずさめる歌があれば」と話したところ、役員の方々が賛同してくれました。同窓会会報第二号に、副会長の元山安治さんが、早速、〈募集〉と題して「我こそはと思う方、詩や曲の提供をお願いします」と記事にして呼びかけました。2004年度9月卒業生で、苫小牧市に住む岡田理江子さんが、この呼びかけに応じて、作詞して送ってくれました。

美しい詩でした。岡田さんは1番の歌詞を、あの農学部前の旧昆虫教室を使った校舎を、懐かしく思い出して作ったそうです。思えば我が学習センターも、名称が放送大学北海道ビデオ学習センター、放送大学北海道地区学習センター、そして現在の放送大学北海道学習センターと、三度変更になりました。

岡田さんは二番の歌詞で、北海道大学との合築で五周年を迎えた、近代的な現校舎の北海道学習センターと、そこに学ぶ放大学生を誇らしくうたっています。

岡田さんの詩が同窓会会報第三号で紹介されると、これを読まれた客員教授 長谷部清先生(同窓会特別会員)が、音楽家でもある奥様、長谷部美恵(はるえ)様に作曲をお薦めくださったとのことです。奥様は北海道学芸大学札幌分校の(現:北海道教育大学札幌校)特設音楽課程のご出身でもあり、かつては札幌市柏中学校で教鞭をとられたこともおありとのことです。奥様は「今も昔もただの音楽教師です。」くらいの紹介でいいと謙遜なさっておられました。

作曲された長谷部先生に歌ってもらい。この曲を奥様は友人の大塚真理子様にお見せになられたそうです。大塚様はこの曲に共鳴され、ご自分が主宰されておられるコールフォレスト合唱団で歌ってみることを約束くださったとのことです。

長谷部先生は、同窓会の関口真澄幹事に奥様の作曲された楽譜をFAXで送信してくださったそうです。一刻でも早く同窓会を喜ばせてあげようという、先のお気持ちであったよう想像させていただいています。関口さんは、そのFAXを更に私宛に再FAXされたわけです。そのあとに奥様は私が受取ったそのFAXをご覧になって「鉛筆書きの楽譜がコピーだ、FAXだと次々渡っていくとこんなにもひどいものになってしまうのですね」とお手紙をくださいました。

私は関口幹事さんからFAXを受け取った翌朝、電話でお礼を申し上げたところ、奥様から「曲の感想は如何ですか」と尋ねられました。私は知る人ぞ知る天性の音痴。恥ずかしなが

ら、歌うことはもとより楽譜も読めないド素人ですので、「これから地域の東光小学校教頭の大貫康行先生に頼んで音にして貰いますので、ご返事はそのあとで致します」とお礼がお詫びになってしまったのを覚えています。

この時点では、冒頭に書いた大塚様のことなどは、未だわかりませんでした。私は長谷部先生ご夫婦にも全く面識もないまま電話した次第でした。とにかく奥様のお尋ねに応えなければなりませんと思ひ、その足で地域にある東光小学校に赴き、大貫教頭先生にお願いしました。折悪しく時期は夏休みに入る直前で、教頭としての大貫先生は、最も忙しい時でもありますので、無理は言えません。そこで、FAX の楽譜からメロディと伴奏をピアノで弾き、テープして、至急送ってもらうことを、東京在住の三島寛子（東京芸術大学音楽学部出身 バイオリン個人教授）さん、牧野稚子さんに速達でお願いしました。

その後、大貫先生からも、FAX から楽譜を作って頂きました。また、長谷部先生ご夫婦からは大塚真理子様指揮、沢田昌子様ピアノ、コールフォーレストの皆様合唱による歌声のテープを送っていただきました。お近くの郵便局が休日で、先生が遠くの集配局までお出かけになって、送ってくださったことを郵便局の消印で知り感動しました。このとき、奥様のご友人である佐藤順様がパソコンで清書された楽譜も頂戴しました。

この 道放大生賛歌 は閉塞感もある社会の中で、放送大学に学ぶ多くの学生やそこを母校とする同窓会に、凜凜しく、美しく生きる勇気を与えてくれるに違いないと確信しております。

作曲者である長谷部美恵様のお手紙には、「いつの日か放大生さん達がこの歌をうたってくださいることを期待しております」とありました。

作詞者 岡田理江子さん、作曲者 長谷部美恵様、大塚真理子様並びにコールフォーレストの皆様、そして、大貫康行先生を始めご協力頂いたすべての皆様、ご助言を頂戴しました放送大学学習センター富田房男所長先生、事務室の皆様にも心よりお礼を申し上げます。末尾になりましたが、親身にお世話頂きました客員教授 長谷部清先生に感謝申し上げます。先生のご親切がなければ、この歌の誕生はこんなに早く実現しなかったとおもっています。なお、放送大学北海道同窓会としては、作詞者、作曲者のご同意を得た上で、この道放大生賛歌 を放送大学北海道同窓会にご寄贈いただいた上で、この歌が末永く、放送大学を愛する人々によって歌い継がれていくことを願って、この歌を本日、放送大学北海道学習センターに贈呈させていただきます。 (2005年10月8日)

\*「道放大生賛歌」は年間最低5回（春と秋の卒業を祝う会と入学者の集い・文化祭）、放送大学北海道学習センター学生サークル「うたの会」によって歌われています。♪緑の大地のその中に～ひっそりたたずむ学び舎学び舎♪と思わず口ずさむほど身近な私達の学歌になってきました。私達は8年前の元山さんの呼びかけから色々な方々のご助力で生まれた賛歌を歌い継いで来ました。そのサクセスストーリーを同窓会の古い書類の中から見つけました。牧野金太郎前同窓会長の文章を今一度皆さんに読んでいただき、学生や母校に対する愛を感じて頂きたいと掲載しました。皆さん 溢れる愛を感じていただけましたか？

故 牧野金太郎同窓会長のご冥福をお祈りします。 中根恵美子他幹事一同

## 「みんなの文化祭」報告

### 放送大学北海道学習センター所長 筑和 正格



同窓会員の皆さん、お元気でしょうか。北海道学習センターの学生教職員一同は相変わらず活発に学習をはじめとする様々な活動を活発に行っています。

9月には毎年恒例となった「文化祭」が盛大に開催されました。『てんとう虫』でも報告されていますが、今年の新機軸は「FM三角山放送局」のホールで行った「みんなの文化祭」です。この文化祭の様子は「大学の窓」でも紹介されたのでご覧になった方も多いのではないのでしょうか。「放送大学学生の地域連携事業」として起案し、今年度の「学長裁量経費」に応募して採択された次第です。三角山放送局の協力をえて出演者を公募した結果、北海道学習センター内部からのものを含めて全体で16組の出し物となりました。ジャンルも、合唱・独唱・合奏、舞踊、詩吟、落語、相撲甚句、朗読、太極拳などきわめて幅広い領域を網羅しています。出演者も演目も多岐にわたっており「放送大学学生と地域社会の人々との協力と交流」という目的は十分に果たすことができた結果を受け止めております。何よりも期待をはるかに越えたのが聴衆の数です。出演者が出番の前後に自らも聴衆となるケースもあるにせよ、会場は終始満員の聴衆であふれかえっていました。通りがかりに建物から漏れ聞こえる音を聞きつけ入口から会場内を覗き込む人々も大勢いました。まさに嬉しい悲鳴を上げたいところです。しかし同時に、これは後段で述べるようにセンター所長としては考えさせられる点もある成果です。



「みんなの文化祭」第2弾は、11月3日に函館でコミュニティFMの元祖である「FMいるか」のスタッフの力を借りながら、5名の学生が札幌から運営にはせ参じて行われました。会場運営はできれば函館在住の学生主体で実行したかったのですが、当日都合がつかない人が多く、富永一興さんだけが運営に参加してくれました。函館の出し物は10組でそれぞれの質の高さには目を見張らせるものがありました。「アフリカントラディショナルバンド」のパフォーマンスや「函館アマデウス合唱団」や「ゴスペル」が特徴的などころではないかと感じました。札幌で好評だった安達康子さん（元・本学学生）の「おわら風の盆」を函館でも踊っていただきましたが、今回は佐藤センター事務長も特別出演して聴衆からの喝采を浴びたことが特筆すべき点です。こちらも大いに満足すべき成果を収めたわけです。

次は11月17日に開催される帯広での「文化祭」です。何とか成功させたいものです。上で触れた「考えさせられる点」とは、具体的には「昨年の活動結果との差」のことです。

網走を皮切りに、昨年は道内何カ所かで「公開講演会」を開催しました。各地でかなりの数の出席者を集め、放送大学の知名度向上にそれなりの貢献をしたと評価できます。しかし、今年の「文化祭」の聴衆の数はそれとは桁外れだと言っても過言ではありません。この「差」は、はたして何を意味するのでしょうか。「楽しい催し」に大勢の人が集まるのは自明の理だと言い切ることも確かにできますが…

でも「集客力の差」について急いで結論を導き出すことは、ひとまず擱いておきましょう。同窓生の方々はこれについてどう判断するのでしょうか。



## 同窓会との共存共栄

北海道学習センター 事務長 佐藤陽一

同窓会の皆様には日頃から大変お世話になっております。

今回中根会長から会報に寄稿する機会を与えていただきましたので、この場をお借りして日頃の支援に対して改めてお礼申し上げます。

放送大学北海道同窓会には、卒業を祝う会はもとより、研究発表会、文化祭等学友を支援する多くの行事で中心的役割を担って

いただいています。

特に今年度は、学長が「アクションプラン2012」で大きな柱のひとつに掲げている「地域貢献」を実現するために北海道学習センターが取り組んだ「地域連携プロジェクト みんなの文化祭」で、同窓会役員、会員の方々には企画から当日の運営、あるいは出演者として多大な貢献をしていただきました。

以前ひと言集に「同窓会は大学にとって最強の応援団であり、ファンクラブだと思えます。」と書きましたが、今回改めてそのことを実感しました。

今回の企画は大学から単年度の運営資金を獲得して実施したのですが、学内外から継続を望む声があがっており、何らかの方策により来年度以降も続けていきたいと思っております。

次年度以降の継続には同窓会の方々の支援が必要ですので、是非とも更なるご協力をお願いいたします。

さて、学習センターとしてはとても頼りになる同窓会ですが、近年組織が硬直化しているような気がします。

どんな優れた組織でも、組織を活性化し、人材を有効に活用しなければ、継続して発展していくことはできないのではないのでしょうか？

今年度で現役員の任期が満了すると聞いておりますので、自薦他薦を問わず我こそは、あるいはこの人なら、と思う人を是非とも選考委員会のほうに推薦していただきたいと思えます。

同窓会の発展は学習センターの発展に直結します。

来年度は、新役員体制で学習センターとともに共存共栄の関係を築いていきたいと思います。

同窓会は、大学とは独立した意志をもった団体として、大学、学友のために建設的意見、提言や、有形、無形の支援により、大学を支えくれる非常に頼りになる存在です。

特に北海道同窓会には豊富な知識、経験を持った沢山の会員の皆様がいっぱいいます。

これからも大学、学友のために強力なサポーターとしてお力を貸していただけるものと大いに期待しております。



## 「同窓生・学生と母校の応援団として!!」

北海道同窓会 会長 中根恵美子

私達同窓会は学生、母校を支援する応援団としていつも頼られる存在でありたいと毎日奔走しています。本学が他大学にない特徴の一つとして、卒業・修了した学生の中には、同窓生と同時に学生であるリピーターが多いことです。同窓会役員も半数以上が学部生でその外2名が大学院生です。私達役員は学生や母校の応援団であると共に私たち自身の応援もしている事になりますね。

今回の文化祭は筑和センター所長先生と佐藤事務長さんの連携プレーで私達に大きな夢と希望をプレゼントして下さいました。私達が本学で学んだ知識や経験を地域の皆さんと共有できる・地域に貢献できる可能性への夢と希望です。まだ「みんなの文化祭」の途中ですが、地域の人々に期待され受け入れられ、理解されるようになってきたと感じています。

私達は「みんなの文化祭」の準備から開催まで学習センター事務室の方々や放送局の担当者の方に支えられながら、学友会や学生サークルと共に頑張っています。又、このような催しをする事によって、学生同志のコミュニケーションが活発になるように願って、広報に力を入れました。同窓会や学友会は会報やチラシを会員に送り、「てんとう虫」には開催案内を掲載して戴きました。又、北海道、札幌市、江別市、小樽市などの施設や地域コミュニティセンターにポスターやチラシを実行委員会が中心となって配布依頼に奔走し、JR駅、地下鉄駅20箇所にもポスターを貼らせて戴きました。学習センターにも日頃来れない同窓生やセンターで会う人毎に広報して満遍なく学生に周知するようにし努力しました。地域の人々には放送大学の存在を認知して頂き、又、多数参加して下さいました。しかし、残念ながら

放送大学の学生が少ないのが現状です。この理由は、働きながら・家事・育児・家族の介護・自身の病気や高齢化の中で学んでいる学生が非常に多い本学のもう一つの特徴かなと考えます。参加したら単位が取得できる道民カレッジとは違いますが、文化祭に参加しようとする学生が少ないのは残念ですね。一昨年のおみんなの音楽祭は100名、昨年の文化祭のおみんなの音楽祭は210名、今年のおみんなの文化祭は220名の参加者になりました。実行委員会が地域と連携して開催しながら着実に放送大学の根を伸ばしていると感じますが・・・。

私事ですが、私は合う人毎に「放送大学を知っている？」と聞いています。以前は「NHKやアナウンサーの学校？」と答えが返って来ていましたが、最近は「友人が放送大学生です」「伯母が選科履修生です」等と応える方が増えています。そんな時、学友がそこにもいる、ここにもいると感じます。嬉しいですね。一人ひとりの顔が見えなくても学生の輪を感じます。

今年度で同窓会役員の任期が満了します。次期の会長・副会長候補も選考委員会で準備を始めました。選考委員から「会長の任期は長すぎる。任期を1年にすると1年ならやって見ようかと言う候補が出るかも知れない」との意見が出され、役員会で「来期の総会で会則を変更しよう」と決議しました。会長候補がいないので苦肉の策ですが、私は多くの同窓会員に会長職を経験して頂きたいと前から考えていました。かく言う私も、同窓会主催の「卒業を祝う会」でお赤飯と紅白のお饅頭を戴き感動して同窓会に入会し、役員に誘われました。その年の11月には会長候補に推薦され会長に成りました。仕事を持って学んでいたのも、同窓会の役割や必要性、本学の特殊性など真剣に考えた事などありません。サークル活動のように気軽に引き受けたのです。「その立場に立つとその器になる」と言います。皆さんに会長になって頂き同窓会や母校を大所高所から見て頂きたいのです。

同窓会はビジネスではありません。同窓生や学生、母校に対する奉仕です。お世話になった母校への恩返し、在校生へ適切なアドバイスや支援、同窓生に対する情報の提供や再入学のお誘い、同窓会運営などを、責任を持って対処する。私は会長になってその様な事を日増しに実感しました。又、全国の同窓会との連携（同窓会連合会）で見えてくる他の学習センターの状況や同窓会の活発な活動に触発されました。同窓会の役割、それは母校と学生・同窓生の応援団であり続けることです。これからも同窓生・学生や母校の応援団として、頼りにされる同窓会にしたいですね。新しい血が血が血が北海道同窓会役員に欲しいですね。

皆さんに同窓会役員を経験していただきたいです。学生の勉学の悩みや、喜びを共有し、北海道学習センターの学生が一丸となってよく働き、よく学び、よく話し合う。楽しい同窓会にまざろうよ（参加しようよ）！！

## 第4回 文化祭

9月11日（火）～9月16日（日）

開催しました。

展示 9月11日（火）～9月16日（日）

場所：学習センター 6F 廊下



\* 絵画・書道・写真・手芸などの展示物。



\* パソコン学び隊体験サークル：

9月15日(土) 13:00~18:00

場所：6階 実習室

## バザール

会場：5階 ロビー

出品受付：生もの以外の出品

皆様 沢山のバザール用品ありがとうございます。収益金11,116円は実行委員会で協議し、積立金とさせていただきます。



講演・発表 9月15日(土) 13:00~17:00

場所：学習センター大講義室 6F\* 研究発表など

## 第4回 文化祭 研究発表会

9月15日(土)

記念講演：北海道大学特任教授放送大学客員教授

高橋吉文氏

演題：「西洋時代劇チャンバラ騎士物語」



TVゲームの中でも不動の人気をほこるRPGは、実は、中世後期12世紀に、アーサー王伝説を換骨奪胎してフランスの宮廷で創出された騎士物語に由来するものです。円卓の騎士たちが遍歴冒険する西洋時代劇チャンバラです。近年大ヒットしたファンタジー映画『ロード・オブ・ザ・リング』(『指輪物語』)や、善悪両陣営の騎士たちが光の剣で激しく戦いあうSF映画『スター・ウォーズ』も、もちろんその系譜につらなるものです。千年近くも昔の冒険物語が現代の娯楽物語をいわば牛

耳っているのです。講演では、その西洋の不思議な騎士物語を、時に日本の時代劇とも比較しながら、考察してみたいと思います。ちなみに、この騎士物語を日本で初めて創作した人物が、夏目漱石先生でした・・・

## 2 研究発表

発表 1 テーマ 「難病患者の生命保険の研究課題」  
平成24年3月大学院 生活健康科学プログラム  
修了 平田幸子氏



発表 2 テーマ 「ニートと若者の就労問題」  
平成24年3月 教養学部「社会と経済コース」  
卒業 土屋順子氏

発表 3 テーマ  
「アイヌ民族側から伝えたいアイヌ文化の基礎知識」  
人間と文化コース在学中 アイヌ文化アドバイザー  
門脇こずえ氏



学生3名の研究発表があり、それぞれの努力の跡が窺われました。また、白井理事長先生が札幌で学会があり、学習センターへ立ち寄られた。先生が発表会場



へ到着。先生からアイヌ語やアイヌ文化を伝承して行く事の重要性などのお話を頂き閉会しました。北海道の歴史や文化について感心を持っている学生が多いことを再確認しました。今回は道民カレッジ生9名、一般の方9名、その他当学学生、同窓生を含め参加者が56名となり、用意した資料が不足するなど慌てる一幕もありましたが、向学心旺盛な参加者は最後まで熱心に聴講していました。

放送大学地域連携プロジェクト みんなの文化祭 開催しました

開催 日時 9月16日(日) 13:00 会場 FM三角山放送局



合唱	学生サークルうたの会
楽器演奏	琴・ドレミニ琴 咲楽(さくら)
アリア独唱	斉藤習子
落語	北大落研
踊り	安達康子 
インタビュー	センター所長 筑和正格 来生副学長  大学の窓 アナウンサー 齊藤綾乃 
合唱	ロシア民謡合唱団 ランデシィ 日本ユーラシア協会札幌支部所属サークル
ライブ	宮本尚&竹内 聖
詩吟	琴似吟友会西道場
楽器演奏	オカリナアンサンブル
歌唱	松本良子歌謡教室
インタビュー	西区中立体育振興会
踊り	宝来ひよつこ踊り
相撲甚句	札幌発寒相撲甚句会

朗読	<b>中川俊二</b> 宮沢賢治といえば「風の又三郎」となりますが、今回は「グスコブドリの伝記」から	
	<b>楽器演奏</b>	オカリナ「moderato」
	<b>合唱</b>	八軒わかくさコーラス
	<b>太極拳</b>	西野中立町内会太極拳愛好会
	<b>終演挨拶</b>	実行委員会

(敬称を略させていただきます)



## 「私と越中おわら踊り」

安達 康子

富山県八尾町の「おわら風の盆」という民謡行事で踊られているのが「越中おわら踊り」です。

二百十日の風を鎮め、五穀豊穡を祈る行事として三百余年の歴史があります。

明治時代に胡弓の伴奏が加わり、大正時代から少しずつ洗練され、昭和四年、若柳吉三郎が新しい踊りの振り付けを完成させました。

おわらの歌詞は初代おわら保存会長で医師でもある川崎順二が私財を注ぎ込んで小杉放庵、野口雨情、長谷川伸、佐藤惣之助、川路柳虹などを八尾に招き、秀歌を詠ませ、

現在の歌詞の基礎を築きました。

昔、十一町内がそれぞれお揃いの浴衣は揃えることができたが、経済的にゆとりがなく帯までお揃いにできず、全員が持っていたのは冠婚葬祭用の黒い帯だったので、それを使ったそうです。今では、それがよそにはない美しいコーディネートとなりました。

また、高橋治、五木寛之、西沢裕子、西村京太郎、渡辺淳二などの作家、脚本家が八尾と風の盆を題材にした作品を生み出しました。特に高橋治の「風の盆恋歌」で全国的に有名になり、「おわら風の盆」には人口約4000人の町に30万人の観光客が訪れるようになりました。

私も子供達が自立し我が家を去った時、心にぽっかり穴のあいたような寂しさに襲われ、

以前から関心のあった「おわら風の盆」を見に行き、幻想的で優美な踊りに魅せられ、現地で習い、覚えました。

最初は踊りの順番を覚え、音楽に合わせるのが精いっぱいでした。慣れてくると、おわらの目指す「優美」を考えるようになり、手はどうしたらよいか、足の角度はどのようにしようかと工夫をするようになったのは良かったのですが、慣れとは恐ろしく、見た目だけのことしか考えなくなったのです。

上辺だけの踊りでは「優美」からどんどん離れていき、踊りの奥深さや私らしい表現もできなくなり、「おわら風の盆」の歴史的背景、越中人の美的感覚を知るために「越中人のこころ」「越中社会学」などを学び、自分はどんなふうに表示したらよいのかが少し見えてきました。

「越中おわら踊り」は飽きっぽく、いい加減な私を成長させてくれました。

難しく、すぐには役に立たないと思われる学びが、ある時、自分の心に寄り添って進む道を教えてくれます。それは放送大学での学習から学びました。

私は選科履修生ですから、今年の9月で終了です。

誰とも交流することもなく、終わりにするのはとても悲しいです。

今年は「みんなの文化祭」が企画され、私も参加できることが分かり、放送大学で学んだ記念に出演しました。

文化祭を通して、みんなと繋がる素晴らしさと一つの目標達成のため、みんなで力を合わせて成し遂げた時の、心から湧きあがる喜びを味わうことができました。

このようなうれしさをずっと忘れていました。

選科履修生終了後、函館の「みんなの文化祭」にも声をかけていただき、更に北海道学習センター（札幌）の佐藤事務長に男踊りの衣装を着て舞台に立つことも快諾していただきました。

大学の実行委員のみなさんと2泊3日寝食を共にし、長時間交流ができ、また別れ際には

「大学に遊びに来てください」と温かい言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。





みんなの文化祭 i n 函館 開催しました

日 時：11月3日（土） 会 場：FMいるか



挨拶	放送大学北海道学習センター	所長 筑 和 正 格
踊り	函館躍魂 いさり火（よさこい）	

弾き語り	<p>タッカとカスミ 手話のミュージックサインと 共に耳の聴こえない人にも届け たい。</p>	
合唱	<p>教育音楽ぐるーぷどるちえ</p>	<p>「はこだて童謡の会」</p>
落語	<p>東屋きむち 出し物「松竹梅」</p>	
合唱	<p>函館アマデウス合唱団</p>	<p>モーツァルト作曲</p>
踊り	<p>安達康子 おわら風の盆</p>	
楽器演奏	<p>スィンギング・バード (多種類ハーモニカ)</p>	
歌唱	<p>岡田光義民謡教室</p>	
楽器演奏	<p>BAOBABUU (バオバブ) アフリカン太鼓と踊り</p>	
合唱	<p>Che☆llow (チェロー)</p>	<p>ゴスペル</p>
エンディング	<p>出演者紹介 ・ 小林実行委員長挨拶</p>	
終演		

11月4日（日）午前11時 函館大学内 函館学習室へ行ってきました。

みんなの文化祭 プロジェクト委員会（文化祭実行委員のうち）

函館市湯の川町湯ノ岱神社電停（終点）から徒歩20分。函館大学付属図書館の一番奥に学習室がありました。教材はDVDのみ。時間外担当者談：「以前は卒業した学生が寄贈したものを置いていたが古くなったので処分した。」利用状況について質問したところ、「利用者は交通の面で不便さがあり、平日の利用者が少ないが試験前の利用者数が多い。」学生のサークル活動などは？「学友会と同窓会は学窓会的であり、月1度学習室でミーティングをしていたが、今年度4月から五稜郭の中央図書館で会合を持っている。」放送大学について役所や市民の認知度を質問した。「函館市の広報に載っているが、どのような大学なのかは分からない。大学から現役の学生が来て市民に説明をして欲しい。具体的な利用方法が分かると、函館では老人が多く時間の使い方に困っている人も多いため、その様な人たちが生涯学習として放送大学を利用するのではないか」との事。

私達は科目登録時に教科書を見て選択できない事は不便ではなかろうかと話し合い、「放送されている科目で使わない教科書があったら、函館学習室に送ろう」との結論に達しました。皆さん！前述の教科書を集めます。学友会の会長か同窓会役員にお渡し下さい。纏まりましたら函館学習室に送ります。よろしく御願います。



## 第5回 文化祭のお知らせ

**開催日程 平成25年10月8日(火)から10月13日(日)**

**展 示 : 8日から13日まで**

**体験サークル活動 : 12日(土) 午前11時から**

**バザール : 12日(土) 午前11時から**

**研究発表 : 12日(土) 午後1時から**

**上記開催場所 : 北海道学習センター5・6階**

**開催内容日時は予定です。**

**「みんなの文化祭」 : 開催日時場所未定**



北海道学習センター全体の2012年度第1学期の学部卒業生は、65名（札幌60名、旭川5名）です。北海道SC卒業生の中美智子さんは6専攻卒業、いわゆるグランドスラムを達成されました。本学習センターのグランドスラム達成者はこれで4名となりました。4専攻卒業生1名（札幌）、3専攻卒業生3名（札幌）、2専攻卒業生11名（札幌10名、旭川1名）というすばらしい成果も生まれております。

（筑和センター所長挨拶文より抜粋）

## Education, Service and Volunteer

放送大学北海道学習センター  
元客員教授 長谷部 清



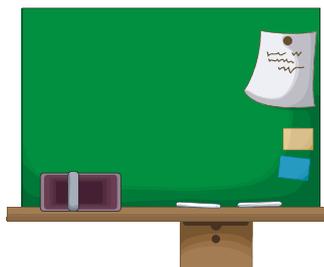
卒業お目出度うございます。何時も思うことですが、ご年配の方から、20歳過ぎの若者まで幅広い年齢層の卒業生を送り出す放送大学はとても素晴らしい学舎であると、私は感激するのです。同窓生の数も創設から20年を経過し、少しずつ数が増え、形が整ってきたように思えてきました。

放送大学は、通常の大学と設立形態が違うために、学習センターに研究室がなく、教員の常駐もままならないので、在學生はもとより卒業生が大学にやって来ても拠り所とするところが無いように感じるのです。母校があって、ないのが現状なのではないかと想像します。一般の大学では、訪ねていけば、先生方にも出会え、歓談の場が待ち受けてくれます。

それはそれとして、放送大学北海道学習センターでは、主としてメディアを介して学習の場が提供され、それを自分にあつた方法で活用し、工夫と努力により何倍もの成果に発展させられることは他に類をみないものであり、大きな特徴でしょう。

ところで、多くの大学では、同窓会があり、事業の一つに同窓会誌の発行があります。会員同士の幅広い交流の場として利用されています。近年、どういう訳か、同窓会に入会する卒業生が減少し、加えて、個人情報非公開を楯に会員名簿の掲載も骨抜きになったとささやかれています。同窓会誌はいろいろな交流の場として利用されてきましたが、昨今はこの名簿が悪用されると言うこともあり、情報の掲載に消極的な同窓会（誌）もあるようです。利活用の仕方によっては、同窓生の社交の場に大いに効果を発揮するとも言えるのですが。

放送大学北海道学習センターの皆さん、良い知恵はありませんか。どうすればよいでしょうか、改善の余地はあるかも知れません。皆さんの知恵が大きくなって北海道学習センターの中に芽吹くことになるかも知れません。新しい社交の場が、そして学習環境の構築の場が出現することになるでしょう。放送大学北海道学習センターの同窓会もその一つの場になると良いなと思うのです。私がアメリカで生活していたとき、教わったことがあります。人生にとって大切なことは、「Education, Service and Volunteer」です。我が国では、ボランティアにはいろいろ有りますが、アメリカでは、ボランティアに有償も、無償も無く、ただ一つボランティアは無償であり、見返りなどは求めません。私たち同窓会もボランティアで頑張っています。同窓生の皆さんから、寄せられる小さなひと言、囁きが大きなうねりになって新しい交わりの場が構築されることを期待して止みません。皆さんの益々のご発展を祈念いたします。



## 平成24年度前期 卒業を祝う会



### ご卒業の皆さんへ

北海道学習センター学友会  
会長 小林 祐吉

自分に課題を与え、それを達成されたことに心より敬意を払います。入学の経緯は皆さん其々でしょうが、学位を取得することが目的の方は狙いを定め一気に単位を取得されたことでしょうか。仕事を持ち育児などをしながら学んだ方は何かを犠牲にして勝ち得た結果でしょうか。

生涯学習として好みの分野を学んだ学生は自分の喜び、何故か視野が広がり素晴らしい展望では有りませんか？ 自分にご苦労様と言ってあげてください。

そしてお友達に「私放送大学を卒業したのよ！！」と喜びを話してください。

卒業は新分野へ挑戦の日です。新専攻へ挑戦し知識の巾を広げ、グラント・スラムに挑戦しては如何ですか？

知識の深耕を目指す方は大学院へ進みじっくり、その分野を追求しては如何でしょうか？ そして先輩として学友会会員に経験を後輩に伝えてください。

また、卒業を機に「社会貢献活動」に参加しては如何ですか、同窓会長（中根さん）はNPO 浜美化のリーダーです。力を貸してあげていただけませんか？

本日はご卒業おめでとうございます。

## ご卒業・終了された皆様からの寄せられた喜びの「ひとこと」です。



《社会と産業》 札幌市 加藤 栄

55才で定年を迎え、その後「中小企業診断士」として自営、80才までの時間は、埋めることができた。それからは、単なる“時間つぶし”の気持で、82才のとき、放送大学に“科目履修生”として仲間入りして、面白そうな科目を2～3科目ずつ履修していた処、何時の間にか100近い単位が溜まっていた。先生方から、“折角だから、卒業を考えては”との助言を受け、平成20年、91才で全科履修生になってみると、卒業には外国語6単位という高い壁が立ちはだっていた。

これまで  
は、何の強制もなく、気の向くままの気楽な学習が、今度はこの重荷が気になって、苦しみを意識した月日が変わった。

今回13年間を費やしてようやく卒業という“はじめ”がついたのである。

明日からは、95才で再入学をして、また気楽にわが人生の、残る時間をつむいで行こうと思っている。

人生の終焉に向かう今、最後まで学び続けたいと思います。その環境に遭遇できましたことは、邂逅そのものと感謝しています。



《人間と文化》 上野 輝男

60才から始めた放送大学での「学び」。選科生としての5年間に加えて、全科生での7年間、計12年もかかっていたの卒業です。これからも「学ぶ心」を忘れずに暮らして行けたらと思っています。





### 《生活と福祉》 土谷 志保子

私の通信の始まりは、高校からです。有朋高校通信課程を卒業しました。中学校卒業後は、専門学校へ進んだため、その後、仕事、結婚、育児という毎日の中で通信の高等看護学校に通い、国試合格をきっかけに放送大学を知ることになり、全科制へ入学、そして今、卒業することができました。まさに私は、通信生活です。進学を諦め後悔していた時、通信なら今の環境で学ぶ事ができると決意、自己管理に

徹し、自らの学習状況を把握しながら学習を継続した経験は“心のエネルギー”となり、“生きる力”へとつながっている。学習できる楽しさや喜びがあり、学びに年齢は関係ないと思いました。面接授業へ行くと、私よりもはるかに大先輩の方々がいらしたので、“私はまだ行ける！”と勇気をもらいました。教科書はもちろん、面接授業も中身が充実しており、すばらしい講師の先生方ばかりで、感謝と感動の連続でした。その感動をもう少し味わいたいと思い、再入学を決意した所です。学ぶチャンスを与えて下さった事に感謝いたします。そして、これからも学び続けたいと思います。

### 《心理と教育》 幕別町 澤口 猪吉

生きることは「知ること」であり、「知ること」は学ばなければならぬ。  
学んだ知識は知恵をはぐくみ、社会に起るさまざまな事象を解決するためには「知恵」が重要である。



これからの社会で私やあなたは素晴らしいと言うことを、他者に認めてもらうこと、そのため学び続け、知性と情操を養い、実践の中で自分を探し自分づくりを行い、一生懸命生きて輝き、出会った人々に感動を与える人となることをめざしています。

放送大学には「知識」が「教養」に発展していく「知」の現場があります。





## 《心理と教育》 岡 令子

レポート提出の時期、テスト前の時期、面接授業後のレポート作成時、毎度苦しくて大変な思いをしましたが、やはり楽しかった！ 目標ができて気持ちにハリが出ました。

支えてくれた皆さん、助けてくれた方々、学びを与えてくださった方々、皆様に感謝します。

母親に誘われ入学してから長かったようなあつ

という間だったような気がしますが、喜びをかみしめて卒業いたします！！  
ありがとうございました。



## 《発達と教育》 札幌市 武田祐子

在学中は戸惑う事ばかりでしたが、講義は大変興味深く、新鮮でした。講師の先生方はまさに一流で、放送大学を選んで良かったと心から思います。

在学中、周りから今さら何を学ぶのかと言われ、戸

惑い、負けそうになったこともありましたが、何を学ぶかではなく、何かはわからないから学ぶことで一つずつ解決されていきました。

次から次へと生まれてくる疑問は生きている間続くかもしれません。それを先人の智慧を借り試行錯誤しつつ答えを出していく。私はできる限り探求したいと思います。

今日卒業を迎えことで、一区切りしましたが、少し休んで、また学びたいと思います。

最後になりましたが、事務の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 《生活と福祉》 新ひだか町 飛野 涼子

教員を定年退職したのに高卒から？

私は戦後の教員不足と児童数の増加により道内の5つの2年制教員養成所が設立されその最後の卒業生で教員免許状には74単位の取得が明示されており、放大的の入学履歴書に書きましたが、認証が北海道教育委員会なので受け付けられないと戻され腰が抜けるほど驚きました。納得いきませんでした。高卒の資格で大学生

になりました。高校の時は発掘・調査をする郷土史クラブでしたので、その反面の勉強をしたいと思い、遺跡や歴史の教科書で選科生として3年間在学していましたが、だんだん学習の面白さに引き込まれ「人間と文化」コースに4年目から本科生として再出発しました。





卒業をめざして

がんばりましたが、私の計算では2008年10月で卒業の計算でしたが、「あと一単位足りない」という本部の連絡で半年遅く2009年3月に卒業できました。選科生の時も含め8年かけての卒業でした。その時にはもう「生活と福祉」コースの入学許可証が届いておりました。以前修得した単位が認められるということで晴れて今回の卒業となりました。そして、本日の卒業式には「心理と教育」コースの入学許可証が届いていました。主としてカウンセリングの学習をしたい

と思っています。そして、高卒からがんばった自分をホメてあげたいと思います。

また、同窓会の心あたたまる卒業を祝う会、本当にありがとうございました。会の中での皆様のスピーチを聞いているうち「色々な人生があるものだなあ」と感心し勉強になりました。今回の祝う会、本当にありがとうございました。

順不同・原文のまま 住所無記入は本人希望





## ご 案 内

第9回放送大学研究発表会は下記日程に開催する予定としました。  
研究発表希望者は平成25年1月31日までにお申込下さい。

日 時 : 平成25年8月31日(土) 13時より開始  
会 場 : 放送大学北海道学習センター6階大講義室  
申込先 : FAX 011-642-2389  
主 催 : 第9回 放送大学研究発表会実行委員会

放送大学北海道同窓会 会員の皆様へ

## 同窓会会長候補募集します

締切日：平成24年12月31日

開かれた同窓会を目指して、平成25年度の同窓会会長をはじめ各役員を募集します。

自薦、他薦を問いません。ご連絡をお待ちいたします。

◎ 連絡先：同窓会会長 中根 恵美子 電話 090-2058-4453

Fax 011-642-2389

### 募 集 の 概 要

●同窓会の役員は次のとおりです。

会長1名、副会長3名以内、幹事若干名、監査役2名

●役員は定期総会において会員より選出します。

●会長と副会長は、正副会長候補選考委員会で候補を選考します。

●次期役員任期は、平成25年度から定期総会の決議で会則を変更し、  
1年間の予定です。

放送大学北海道同窓会

## 英語サークルを紹介します。

同窓会幹事 安藤 典子

秋晴れの火曜日英語サークルへ。英語を少しでも話せるように、まずは見学です。やさしくて 紳士的な先生に迎えられ、とても楽しい時間をすごしました。

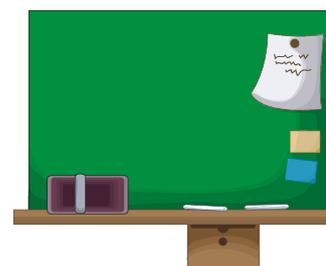
それから八ヶ月、聞くことは少し出来るようになりましたが、この間、先生に「今日の授業中何も話していないよ」と言われてしまい、反省しました。次回からは少しですが話してみますね。英語サークルの皆さんは本当に若くて、年齢不詳の方もいます。私も皆さんを見習い、あやかっで少しでも話せるように階段を上がっていけるようがんばります。終わったあとに一緒に入った仲間とお茶会をして、今日の反省をしたり ファイターズの話をしてりととても楽しい時間を過ごしています。

これで会話できるのかな～

でも楽しいので良いのですよね。

放送大学同窓会の幹事として、英語サークルの生徒として、色々な方々との出会いは、私にとって大切な出会いとなっています。

このように生活している間に、師走となり「おめでとう」のお正月になりそうですね。寒くなりますので、皆さんも風邪には気をつけてくださいね。



## 学生サークル「うたの会」に入会して

同窓会幹事 中原 史恵

学生サークル「うたの会」入会のきっかけは、卒業の後に祝う会に参加した「うたの会」の人たちが合唱で祝ってくださったことが印象に残っていました。

私は仕事しながら両親を看取り、亡くなってから気持ちが落ち込んでいました。ある日「うたの会」のことを思い出し入会しました。声を出して歌うことは身体によいことだし、月一回なので仕事に支障はなく練習に参加できます。

この会はプロの先生の指導で、みんなで和気藹々と自由にリクエスト出来、楽しい魅力ある会です。年二回の祝う会と入学者茶話会、又、文化祭の発表（みんなの音楽祭）で歌っています。今年は放送大学地域連携プロジェクト「みんなの文化祭」にFM放送局ホールで「うたの会」が合唱で出演しました。少々緊張しましたが、楽しくうたうことが出来ました。うたの会の目的である「豊かな人生の糧として、歌を通して文化活動を楽しむ」を達成できたと思います。皆さん是非一緒にうたの会に入会して健康と若さを保ち、元気で人生楽しみましょう。

### 会費納入と新入会員募集のお願い

2012年度の継続会員の方は、今年度の年会費1,000円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金1,000円、年会費(初年度)1,000円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。)

郵便口座名 放送大学北海道同窓会  
口座番号 02740-0-37725

### 放送大学を宣伝してください!

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター  
TEL 011-736-6318

### 「会員の声・読者の声」募集中!

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

放送大学北海道学習センター内

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函可

FAX 番号 011-642-2389 中根

E-mail [tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp](mailto:tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp)

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

### 新入会員のご紹介!! (敬称略・順不同)

小林 祐吉

### 2012年前期卒業生

(社)加藤 栄 (人)上野輝男

(生)土谷 志保子 (心)岡 令子

(心)武田 祐子

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

### パソコン学び隊隊員 募集中!

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか?

たとえば・・・

- ・ 年次の挨拶状を作りたい。
- ・ 簡単な家計簿を作りたい
- ・ システムわかばにアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール:[miyasabon@yahoo.co.jp](mailto:miyasabon@yahoo.co.jp)

電話番号: 080-5585-3416 島田

### 編集後記

北大13条門のイチョウは全国から観光客が来るほど周りの世界が金色に輝き空も道も黄葉したイチョウの葉で覆われます。絶景を狙っていたのに見逃しました。今日は木枯らしが吹き、寒々とした幹に蝦夷リスが冬支度をしています。今年もまだ仮設住宅にいる方々に思いを馳せ、早く元通りの生活に少しでも近くなって欲しいと祈るばかりです。ニュースでは復興予算を拡大解釈した省庁が使っているとか。憤りを感じます。日本の政治は代議員制なので、歯がゆくもどかしくとも、信頼できる人や政党に一票を投じなければ成りません。放送大学での学びを活かし、立ち上がろうとしている人々の後押しをしたいです。